



美里町
議会だより

キラリ

第20号

令和6年2月1日



第20号メニュー

12月定例会	…P2
般質問6名が町政を問う!	…P4~P9
委員会活動	…P10~P11
PickUp! 一般会計補正予算	…P12
議会基本条例	…P13
頑張っています!	…P16

この春、佐俣の保健福祉センター(湯の家庭園)内に「こどもセーター」が設置されます。こどもに関する行政サービスが総合的に提供されることになり、こどもはみんなの宝。子育てしやすい環境が更に充実され、ほしくも育つ成長してほしいです。※表紙の写真は、わんぱく盛りのこどもたち。子育てに毎日奮闘中の谷澤さん御一家(畝野)

小さくても キラリと光る 私たちのまち

令和5年12月定例会

定例会は12月5日（火）から8日（金）までの4日間の会期で開催された。
今回提案された町長提出の案件は、条例7件、補正予算5件、その他4件で
計14件。審議の上、全議案可決・同意した。
一般質問には、6名の議員が登壇し活発な議論が交わされた。

議決事項

議案番号	件 名	議決結果
議案第79号	美里町浄化槽市町村整備推進事業の設置等に関する条例の制定	原案可決
議案第80号	美里町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定	原案可決
議案第81号	美里町行政組織の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	原案可決
議案第82号	美里町簡易水道事業及び美里町生活排水事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定	原案可決
議案第83号	美里町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第84号	美里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第85号	美里町長等の給料、諸手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第86号	美里町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第87号 ～議案第90号	令和5年度美里町一般会計及び特別会計補正予算	原案可決
同意第16号	美里町教育委員会委員の任命につき同意を求める	原案同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適 任
発議第4号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、 2024年度政府予算に係る意見書の提出	原案決定

◎一般会計補正予算（第7号）

一般会計の補正は、歳入歳出予算にそれぞれ3億7515万8千円を追加し、歳入歳出予算総額はそれぞれ82億3340万2千円となった。

●主な事業は下記の通り。

事 業 名	金 額	概 要
介護基盤緊急整備特別対策事業補助金	4605万円	介護用ロボット他施設改修費等
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金	1億1200万円	非課税世帯へ追加分1600戸*7万円
こども家庭センター整備工事・設計	4450万円	湯の香苑内に設置の為
こども家庭センター備品購入費	865万円	関係備品購入費
こども医療費扶助	232万円	増額扶助
農業振興地域整備計画基礎調査業務委託料	333万円	調査業務委託料
災害対策費（公有財産購入費）	500万円	湯の香苑車中避難場用地購入費
教科書改訂関連消耗品費	1021万円	教科書改訂による費用
農用地等災害復旧工事	2660万円	(R5災害分)農地28か所・施設16か所
林道施設災害復旧工事	1595万円	(7月豪雨災)4路線の復旧工事費

12月定例会

条例の制定

- 美里町浄化槽市町村整備推進事業の設置等に関する条例の制定
- (地方公営企業法適用によるもの)
- 美里町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定
- (地方公営企業法適用によるもの)
- 美里町行政組織の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- (こども応援課設置のため)
- 美里町簡易水道事業及び美里町生活排水事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 美里町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町長等の給料、諸手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事

○町教育委員会委員の任命につき同意した。

野尻 絹子氏 (安部) 「再任」

○法務大臣の委嘱により候補者の推薦に対し議会に意見を求められ適任と認めた。

有水 和也氏 (堅志田) 「継続」

令和5年度

定例監査報告

美里町監査委員 大西 茂
美里町監査委員 高田 美千子

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、役場各課・町内小中学校・指定管理者も含めた美里町の定例監査を10月16日から11日間の日程で実施した。11月15日の最終日には町内公共施設や公共工事等の現場調査を行い全日程を終了した。11月24日に町長に報告書を提出するとともに、第4回定例会において定例監査報告を行った。

(監査報告文の抜粋)

各課等の監査資料に基づき、事業内容及び事業推進上の課題等について聴取し、諸帳簿及び証書類の整理記帳は完全か。財産の管理はどうか等、指摘すべきは指摘して適切な改善処置を指示した。

新型コロナウイルスは5類に移行し、経済活動や住民生活もコロナ禍前に復しつつある。今後もさらに住民の期待に応え得るよう、健全な行政運営になお一層努力されることを望んで結語とする。



【現地調査】改修が済んだ老人福祉センター
デイルーム

中山政司氏が、 旭日双光章を受章

令和5年度、秋の叙勲で中川政司氏(洞岳)が、旭日双光章を受章されました。

この叙勲は、美里町議会議員として長年にわたり勤められた功績を称えて贈られたものです。

誠におめでとうございます。



町政の **ここ** が知りたい

12月
定例会

一 般 質 問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。議会だよりでは、紙面の都合で質問と答弁が要約してあります。

今回は6人の議員が登壇し町政について問いました。

中央北地区簡易水道事業の整備年次計画一部見直しを



ふくだ ひでのり
福田秀憲議員

町長 条件整えば計画の見直しは可能



貯水槽のにごり

○中央北地区簡易水道事業

(問) 中央北地区簡易水道事業説明会の参加者数と意見や要望にはどんなものがあったか。(酒井上下水道課長) 説明会は水源地区の小笠と中央北地区の11地区で行った。参加者は272人だった。意見や要望等は①水道料金の将来的な値上げはあるのか。②消火栓の整備をしてもらいたい。③町営水道と今ある水道の併用は出来るのか。④工事分担金で給水管引き込み工事はどこまで出来るのか。⑤町営水道事業を早く進めてもらいたい。などがあつた。

(問) 馬場地区の説明会の中で水質や水量で困っているの一刻も早く給水してほしいと切望する人がおられた。こういう要望に応えるためにも計画の変更は出来るか。

(上田町長) 基本的には計画どおりに工事を進めるが、水道組合または既存の水道施設が故障した、あるいは水質が著しく悪化したなどの緊急性が認められる場合であつて、給水工事が可能な範囲地区であれば計画の見直しは可能である。しかしながら今のところ当初の計画通りに進めたい。

その他の質問

- 入札及び契約について
- ・指名競争入札の参加者数や随意契約での見積書の徴収はどうなっているのか。
- ・指名競争入札後の工事において変更契約が多いがどんな理由か。
- ・随意契約は見直しが必要ではないか。

(問) この簡易水道工事の財源は国の補助対象外だと聞いている。町にとって30億円の大事業になる。町の財源で賄うには将来的に大きな負担となる。財源の確保をどうするのか。

(上田町長) 中央北地区簡易水道事業の財源を確保するに当たり最善の方法を検討した。その中で既存の美里町簡易水道事業を拡張し、中央北地区と併せることも検討した。しかし、給水人口が5千人超となり上水道事業となると国庫補助金と起債の財源措置もなくなり全額町の負担となる。そのため新たな中央北地区簡易水道事業を創設する判断になった。財源の内容は水道事業債及び過疎対策事業債の起債と一般財源、基金を活用する。

(問) 水道工事の期間は10年間ある。その間にも補助金確保のため議会と一緒に国への働きかけが必要ではないか。

(上田町長) 全国簡易水道協会としての要望活動とともに、議員の皆さんとも補助金の要件緩和及び新たな補助について要望していきたい。

公共施設の集約・廃止は



むらさきこういち
村崎公一議員

町長

策定から40年間で30%の削減を目標

○町職員採用

(問) 令和5年度の職員数並びに年次構成は。

(吉住副町長) 行政職員が141名、再任用職員が8名、技能労務職員が10名、再任用職員が2名。会計年度任用職員が53名。正職員の年代構成は20代31名、30代44名、40代36名、50代22名、60代8名。

(問) 美里町の職員採用試験の流れはどのようなになっているのか。

(吉住副町長) 1次試験の内容は、教養試験、適性検査。2次試験は作文試験、個別面接試験、集団面接試験を行う。

(問) 過去5年間の職員の募集人数、採用人数、応募人数、また一次通過後、内定後に辞退した人数は。

(吉住副町長) 過去5年間の募集人数は24名、応募者は134名、採用人数は24名。一次試験合格後に辞退した人は4名。内定を辞退した人は2名。

(問) 今後、働き方改革や事務効率化、人口減少などにより町の職員数はどのようなになるのか。またこれか

ら起こりうる課題はあるのか。

(吉住副町長) これから、社会を支える担い手が急速に減少し、官民間問わず将来的な労働力の不足になる中で、職員の確保について真剣に考えて行く時に来ているのではないかと。国の方でも、地方行政体制の在り方など議論が行われており、その様な議論を注視しながら今後の行政運営の在り方を考えて行きたい。

○社会体育施設

(問) 町営球技場のナイター設備の改修は考えているのか。

(宮寄教育長) 本定例会において補正を行い修繕の予定。

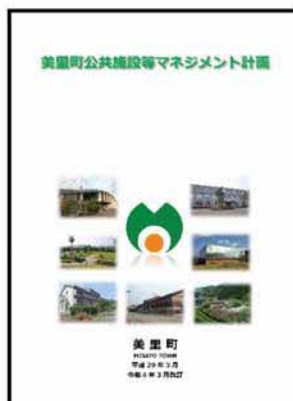
(問) 美里町公共施設等マネジメント計画の中でどの様に検討されているのか。

(坂村総務課長) 施設ごとに、施設の老朽度や安全性から見たハード面、施設の利用状況や運営状況から見たソフト面の2面から施設を相対的に4つ(A・B・C・D)に区分し評価を行う。また、「町域施設」「地域・コミュニティ施設」「学校教育

系・子育て支援施設」「公営住宅」のカテゴリー内で相対評価を行う。

(問) 今後、積極的に検討し、集約、廃止など進めていくべきではないか。

(上田町長) 本町は町民一人当たりの施設保有量は他市町村と比べても多く、このまま全ての施設を維持することは非常に厳しい。40年間で30%の削減を目標に進める、その為にも、町民への情報提供を行いながら、合意形成を図る必要がある。今後、検討委員会等で状況を確認しながら、公共施設の適正配置や整備更新、廃止を進めたいと考える。



美里町公共施設等
マネジメント計画

中央北地区上水道区域の農振除外はあるのか



はま だ けん じ
濱田憲治議員

町長

新たな給水区域は、確実に 農振除外を達成する必要がある

○地域振興

(問) 中央北地区の上水道給水地域の農業振興地域の農振除外の計画はあるのか。

(上田町長) 中央北地区の新たな給水区域内においては、確実に農振除外を達成する必要があると考えている。

(問) 移住定住促進の為に、耕作放棄地を活用した制度を創造出来ないか。(農地付定住促進対策)

(上田町長) 『美里町版農地バンク』として、町内の農地を貸したい、売りたい人の農地リストを作成し、移住定住される方に情報を提供することで、農地の賃貸や売買を促進するような仕組みを検討したい。

(問) 町道西山下原線、町道馬場西山線、町道堅志田乙女線の接続交差点の改良計画はあるか。(西山公民館手前の交差点)また、ラウンドアバウト(環状交差点)を整備する考えも一つではないか。

(富永建設課長) 今後新たな交差点を計画するうえでは、熊本県警察本部との交差点協議が必要であり、その結果を踏まえ安全な交差点となるよ

うに地元とも協議をおこないたい。環状交差点についてもメリット・デメリットを踏まえ、今後検討していきたい。



ラウンドアバウト
(宇城市の環状交差点)



現在の西山公民館前の交差点

その他の質問

- ・町道西山下原線の改良工事(幅員が狭く離合困難な箇所等)はどのような様子を考えているのか。
- ・町道馬場西山線の宇城市、熊本市への接続道の整備促進について考えはあるのか。
- ・農業振興地域の全体見直しについて、どのようなスケジュールを計画されているのか。

○高齢者支援

(問) 買い物難民対策について今後、どの様に支援策を考えていかれるのか。

(上田町長) 厚生労働省が所管する「地域づくり加速化事業」に買い物に対する移動支援を課題に掲げて採択を受けた。生活支援ボランティアの車両に利用者が同乗し、町内の商店等で利用者自身が買い物できる仕組みづくりが出来ればと考えており、令和6年度にモデル地区を設定し開始する。令和7年度からの本格的な事業展開を計画している。

特産物への補助金の増額を！



さか た たつよし
坂田 竜義 議員

町長 一律に嵩上げるのは難しい。

○町職員採用に係る課題

(問) この10年間の職員採用で町内出身者と町外者の状況はどうか。

(吉住副町長) 町内出身者は24名(94名応募)、町外出身者が35名(187名応募)となっている。

(問) 町内出身者が少ないのはなぜか。

(吉住副町長) 試験の合格者は、試験の結果に基づくもので、合格率で見ると町内出身者が町外よりも高いが応募が少ない。また少子化、公務員離れ、さらに高校、大学は熊本市内や県外に行く人が増えているのも一因かと思われる。

(問) 能力の実証では公務員専門学校出身者が有利か。

(吉住副町長) 昨今では、高校や大学のカリキュラムの中で公務員試験の対策を行うところも多く、必ずしも専門学校出身が有利とは言えない。

(問) 住民税と町外者についての認識はどうか。

(吉住副町長) 地方公務員法上は欠格条項に該当しない限り町内外問わず受験資格があり、住むのも自由である。住民票だけでもできないかと言われても違法となる。

(問) 社会人枠についてはどうか。

(吉住副町長) 上限年齢を平成27年

に30歳、平成29年に35歳、令和5年に2次試験で45歳にする予定である。

○中山間地農業振興

(問) 耕作放棄地は10年前と比較してどうなっているか。その対応は。

(西寺農業政策課長) 10年前は457ha(耕作可能地A101ha、原野化しているB356ha)直近では553ha(Aが150ha、Bが403ha)となっている。当面の対応として、所有者に意向確認をして農業公社を通じて貸借をあっせんし、また県の補助事業を活用して耕作放棄地の解消に取り組みたい。B分類の再生困難な農地は「非農地化」して行いたい。

(問) 特産物の作付け、販売額はどうなっているか。(比10年前)

(西寺農業政策課長) 10年前は、指定振興作物は4品目(アスパラガス、フルーツ玉ネギなど)振興山菜2品目(タラの芽など)振興果樹として7品目(柿、栗など)他に茶。

現在では主要品目であるアスパラガスは10年前10ha、1億5千万円の売り上げだったが、2ha、4100万円の売り上げと大幅に減少。お茶についても栽培面積が減少し他に転換の傾向、美里カボチャは7ha、1600万円の売り上げが4ha、700万円に減少している。

(問) 特産物栽培農家への助成はどうなっているか。

(西寺農業政策課長) 1人当たり種苗代資材代等10万円を上限に助成している。

(問) 特産品中の柚子の今後の見通しは。

(西寺農業政策課長) 現在ゆず部会員は38名、耕作面積6ha、100t(1万本)の作付けになっており、栽培講習会、栽培技術の向上に取り組み青果のまま出荷している。今後6次産業化を推進していきたい。



特産品のゆず

その他の質問

- ・問3 子宮頸がんワクチン接種後の副反応について
- ・問4 空き家特措法の改正と町の対応について

今後の公共交通体系は!?

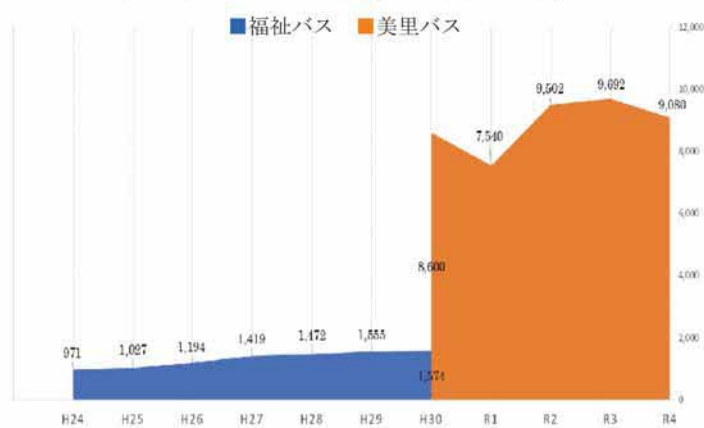
町長

全ての可能性を排除せず 検討を行っていく



ひらの やすひろ
平野保弘議員

利用者1回あたり経費の年度ごと推移



○美里バスの効果的な運行

(問) 公共交通体系について今後の検討・計画についてどのように考えているか。

(松岡美しい里創生課長) 美里バスの利用者がここ3年1300人程度と横ばい、改善の必要性を強く認識している。今後、住民の皆さんの移動需要、交通事業者の状況等を調査・評価し、抜本的な制度変更を含めて検討を行っていく。

(問) 一人一回乗るのに掛かった経費は「福祉バス」では1255円となり、「美里バス」では8697円となる。経費を抑える為に、思い切った変更は考えていないのか。

○有害獣対策

(問) 町所有のイノシシ用箱罠の保有状況・貸出状況・管理状況は。

(西寺農業政策課長) 町の協議会所有のイノシシ用箱罠が250基あり、現在全ての箱罠を貸し出している。緊急的な追加購入を進めているところではあるが、来年度では予算を計上し購入を計画的に行いたい。

箱罠の管理については、申請時に設置場所を記載して頂き、箱罠に番号を付して管理している。また、利用状況調査を実施し、利用及び管理していない箱罠については返却して頂くようにしている。

(問) 電気防護柵やワイヤーメッシュ柵等の設置・管理について、専門家による現地指導は出来ないか。

(西寺農業政策課長) 熊本県の補助

事業「えづけSTOP! 鳥獣被害対策事業」がある。3月に嘱託員を通じて募集を行う。

その他の質問

- 東部地区町水道の水源
- ・ 7月の大雨での東部地区水道の断水について
- ・ 夏水地区での水源調査計画について



水源調査を行う洞岳分校跡地付近(夏水地内)

観光に特化したまちづくりは



よしずみじゅんいち
吉住 淳 一議員

町長 美里らしい観光メニュー開発を！

○観光地周辺の整備と観光に特化した町づくり

(問) 観光資源を今後どう町づくりにいかしていくか。

(上田町長) 取り組みとして緑川流域の「山都・美里・甲佐・御船」と連携したデジタルスタンプラリーや「宇土・宇城」と連携したパンフレット等の作成を実施。更に自然に触れながら歴史や文化を学ぶアドベンチャーツーリズムを取り入れた美里らしい町づくりを目指していきたい。



八角トンネル (小筵)

○介護保険事業計画

(問) 来年度から第9期介護保険事業が始まるが、その基本理念・目標は。

(上田町長) 介護保険制度の基本理念は高齢者の「自立」と「尊厳の維

持」になる。それを踏まえ町の基本理念を「誰もがいきいきと暮らせるまち美里」とした。また基本目標においては五つの目標を上げ、具体的な施策や事業を計画していくとしている。

(問) 第9期における介護認定者数の見込みと認定率は。

(谷口福祉課長) 認定者数においてはR3年度858人、R4年度832人、R5年度は10月末で784人となっていて減少傾向にある。

認定率については19.3%と高い水準である。

(問) 認知症施策の取り組みは。

(谷口福祉課長) 数値目標を上げた認知症サポーターの養成及び活動活性化では目標の達成が出来なかったとし、その要因と地域の課題やニーズの整理について対策が必要であると考え。また認知症による要支援・要介護認定者はR2年度48人、R3年度41人、R4年度44人で推移している。今後も取り組みを進めて行く。

(問) 事業量の今後の見込みは。

(谷口福祉課長) 事業量の見込みは介護保険料の設定に大きな影響を与えることから策定委員会において慎重な議論がなされると思う。適正な事業量を見込みそれに見合う基準額の設定につとめていく。

○学校教育の現状と今後の展望

(問) 小中学校の児童生徒数と今後の見通しは。

(宮寄教育長) 現在の児童生徒数は小学校286名、中学校186名の計472名となっている。10年前が676名だったので204名の減となる。5年後をみても141名の減となり減少傾向は今後も続くと思われる。

(問) ICTを使った教育の現状は。

(中川学校教育課長) 各学校において授業での調べ学習、ノートに代わる授業の記録、カメラを使ったレポート作成など機器を活用した授業が行われている。

(問) 学校現場での教職員の勤務状況は。

(宮寄教育長) 教職員の長時間勤務は大きな問題となっている。様々な要因があるが、効果的な教育活動を継続できるよう環境づくりを進めていきたい。

(問) 不登校の現状はどうなっているか。

(宮寄教育長) 10月時点で7名の児童生徒が不登校状況にある。原因は多岐にわたるが、不登校については解消に向けた協議を重ね適切な支援につなげていきたい。

その他の質問

・二俣橋周辺の整備状況はどうなっているのか。

・八角トンネル入り口の駐車場及び道路の整備は考えているのか。

行いました！！

委員会及び現地調査（12月7日）

補正予算を審議

総務文教常任委員会

委員長
委員

濱田憲治
上田 孝

副委員長
吉住淳一

福田秀憲
村崎公一

【総務課】

○熊本県建設業協会宇城支部から寄付があり、町の振興に使用される。

○3月12日、14日、宇土市・宇城市・美里町で台湾の台南市へ公式訪問する（議員4名、職員4名（町長等含む））

○福祉保健センター湯の香苑に併設するかたちで車中避難所等造成される。財源は、緊急防災減災事業債である。

【美しい里創生課】

○ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）は、当初見込み額より多くの寄付があつていふ。

【学校教育課】

○砥用小学校・砥用中学校の通学路（土喰地区）において、隣接する空き家の解体が行われ、解体前までは空き家の壁により水路への転落が防止されていたが、解体によって通学路の脇を流れる水路に児童生徒が転落する恐れがあるため早急に転落防止柵を設置される。

○令和6年度から新しい教科書に変わるため、令和

5年度中に教科書及び指導書を購入し、こども達の確かな学力の向上を図り、学校教材の安定的で計画的な整備が行われる。

【社会教育課】

○総合運動公園グラウンド（B&G）で、手洗いや屋外トイレに使用している給水管及びポンプが破損し使用に支障をきたしているのを改修工事をされる。また町営球技場ナイター照明の水銀灯が複数故障しているのを器具の交換をされる。

【現地調査】

○中央庁舎、公金ステーション・セミセルフレジ

○新しく導入され運用が始まった公金ステーション・セミセルフレジを実際に使用され、納付書には領収済印等が押印された。

【中央小学校、プレハブ棟屋根修繕】

○工事が完了され、屋根部分も以前の屋根を覆うように施工されていた。外壁やパイプ管も塗り直してあり、真新しくなったプレハブ棟に仕上がっていた。



中央小学校プレハブ棟

【町営球技場ナイター修繕】

○8本の照明棟があり、そのなかで水銀灯14個が故障している。水銀灯は現在製造されておらず、3個は確保出来たが、残り3個はハロゲン灯で代用される。

【八角トンネル】

○駐車場の表土が雨水の影響で石、砂が流されており車の進入が入りづらいため箇所もあった。駐車場から八角トンネル、橋脚に降りる所まで綺麗に草刈りはされていたが、昨夜の雨で途中ぬかるむ所もあった。また防火水槽上部に車両が置いてあり以前近隣火災の時、消防車の吸管を投入するのに支障をきたし事案もあり、



八角トンネル入り口

車両の早期移動を要望した。八角トンネル先の所は、大きな岩の落石があり、川側の安全パイプも一部壊れており、部材の交換などの修理が必要である。

【B&G総合グラウンド】

○グラウンドより下の町有地に水源ポンプがあり、そこからグラウンド上にある貯水槽に組み上げ、屋外トイレや散水栓へ供給されているが、漏水及び老朽化が進んでいるので今後、町の上水道を利用する仕組みに修繕される。

【町道三本松千間線】

○11月に発生した、車両の転落事故の現場を確認し、安全対策としてガードレール61mを設置される。

委員会活動を 令和5年度一般会計

産業厚生常任委員会

委員長 坂田竜義
委員 今田政行

副委員長 高田美千子
隈部 寛 平野保弘

【福祉課】

歳出の主なもので、介護
基盤緊急整備特別対策事
業費補助金4605万円
障害児通所支援給付費
240万円、電気ガス食
料品等価格高騰重点支援
給付金1億1200万円
(1世帯7万円)
子ども家庭センター開設
関係5315万円外 介
護保険特別会計等につ
いて説明があった。

【健康保険課】

子ども医療費232万円、
新型コロナウイルス感染症対策の
予防費407万円、母子
衛生費、健康づくり推進
費などについて説明があ
った。若干の質疑があつた。

【農業政策課】

耕作放棄地解消事業補助
金、農業振興地域整備計
画基礎調査業務委託料3
33万円、担い手農地集
積促進補助金105万円、
農業水利施設電気料金高
騰対策事業補助金70万円、
農用地等災害復旧測量設
計委託料580万円、農

用地災害復旧工事266
0万円等について説明が
あった。

【森づくり推進課】

林業施設災害復旧事業補
助金1134万円、重機
等借り上げ431万円、
林道施設災害復旧工事
1595万円等また地域
おこし協力隊募集の現況
について説明があった。

【上下水道課】

簡易水道施設整備補助金
35万円、生活衛生特別会
計、簡易水道事業特別会
計においては公営企業会
計移行に伴う浄化槽使用
料徴収の督促状作成費、
修繕料等について説明が
あった。

【建設課】

減額補正予算の説明、増
額補正については道路工
事請負費5200万円、
災害復旧工事700万円、
路線別の内訳もくわしく
説明があった。

【現地調査】

① 永富地内（永富柳谷線）
砥用食品近くの170m
舗装工事。
総工費1138万円

② 永富字北受 五瀬建築
施工の分譲地（約60坪*5
区画）
水道管敷設、メーター取
付の状況

③ 坂貫地区用水路整備工
事、側溝工事箇所（県工
事分含む）取水堰から町
道を横断する区間が雑石
積みの暗渠のため維持管
理に支障をきたしており
またその一部が落盤によ
り陥没した為、現在敷鉄
板により養生している。

④ こども家庭センター予
定箇所（湯の香苑）



こども家庭センター予定地
（湯の香苑内）

⑤ 小筵水源地
令和3年10月竣工



小筵水源地



井手口(坂貫地内)

- 国の法律改正により相談支援機関である「**こども家庭センター**」を設置することとなった。
- 設置場所は、**福祉保健センター湯の香苑**内。
- 児童・妊産婦の福祉、母性・乳児・幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援を行うことを目的とする。



こども家庭センターが入る湯の香苑

こども家庭センター整備工事

5,315万円

こども家庭センター

母子保健分野→①子育て世代包括支援センター

- ・妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を実施
- ・妊産婦等の支援に必要な実情の把握
- ・必要な情報提供・助言
- ・保健指導
- ・関係機関との調整
- ・必要に応じて支援プランの作成

目的⇒一体的な支援体制の構築・協力体制強化

児童福祉分野→②子ども家庭総合支援拠点

- ・子ども家庭支援全般に係る業務
- ・関係機関との連絡調整
- ・要支援児童及び要保護児童等への支援業務
- ・その他必要な支援

協働

児童相談所

関係機関等

- ・こども食堂
- ・放課後児童クラブ
- ・教育委員会（不登校・いじめ相談等）
- ・教育支援委員会
- ・放課後児童教室（社会教育）
- ・子育て支援センター
- ・障害児支援（療育支援・日中一時支援事業）
- ・療育支援事業……………他

情報提供・関係機関等との調整

- 給付金の支給額 1世帯あたり一律7万円を支給
 - （1）令和5年度の**住民税（均等割）**が**非課税の世帯**
 - （2）令和5年度**家計急変世帯**

予期せず、令和5年1月～12月までの期間に家計が急変（収入が減少）し、世帯全員のそれぞれの年収見込み額が非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯。
- 事業の**予算額**は

1億1,270万円

※12月の町議会定例会で上程された分です。

電力・ガス・食料品等
価格高騰重点支援交付金

議会基本条例制定後の取り組み

美里町議会基本条例が、令和5年9月定例会において承認され、9月9日施行されました。この基本条例に基づき、議会活動の更なる充実・活性化を図っていきます。

そこで、町民の皆様身近な取り組みについて簡略にご紹介します。

○議会広報の充実（第11条）

- ・議会広報は既に令和元年6月から年4回の発行を始めています。更に充実を図るため皆さんからの意見や要望などいろんな情報を提供してもらい更に充実した紙面にしていきたいと思っています。また、令和6年第1回定例会より、一般質問の動画を配信する予定となっております。議会だより「きらり」第21号のQRコードから視聴する事が可能となります。

○議会報告会（第17条）

- ・議会として説明責任を果たし、町民の意思、意見を聴取する場として小学校区域の地区で議会報告会を少なくとも年1回開催予定です。報告内容は活動状況、予算等の審議事項、その他重要と思われる事項などについて報告します。

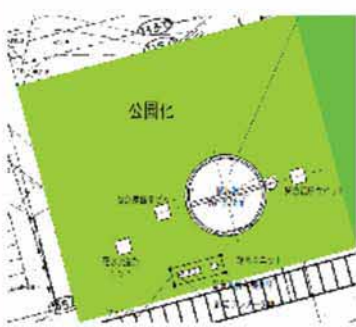
日付	項目	場所	参加者
9月20日	防災行政無線検討委員会視察	長崎県東彼杵町	濱田・吉住
9月20日	令和5年度美里町民生委員推薦会	中央庁舎	上田議長・坂田
9月21日	地域おこし協力隊活用研修	中央庁舎	全議員
9月26日	国会陳情及び議員研修	東京・岩手・宮城	全議員
10月6日	県町村議会議員研修会	オンライン（中央庁舎）	全議員
10月6日	宇城管内消防団意見発表会	文化交流センターひびき	全議員
10月26日	あさぎり町常任委員会視察研修（来町）	砥用庁舎	議長・濱田・坂田
10月29日	石段の郷佐俣の湯温泉まつり	佐俣の湯	全議員
10月31日	森林・林業・林業活性化九州大会	熊本城ホール	坂田
11月1日	宮崎県綾町議会運営委員会視察研修（来町）	中央庁舎	議長・濱田・坂田
11月1日	教育の日講演会	文化交流センターひびき	全議員
11月3日	美里町文化祭	文化交流センターひびき	全議員
11月9日	令和5年度町村議会広報研修会	熊本県市町村自治会館	今田・高田・村崎
11月17日	オンラインセミナー（第一法規）	中央庁舎	全議員
11月17日	令和5年第7回全員協議会	中央庁舎	全議員
11月24日	令和5年第4回議会運営委員会	中央庁舎	議長・今田・濱田・坂田・福田・高田

全員協議会

第6回

9月8日(金)

●中央北地区簡易水道事業に伴う配水池設置箇所(案)について
 ・簡易水道の配水池をカントリパークグラウンド下の駐車場横に設置したい。円形の貯水槽で周辺を公園化したい。また周辺に駐車場も整備する。



配水池予定位置図(案)

第7回

11月17日(金)

●議員報酬を含めた特別職の報酬について
 ・人事院の勧告に伴い特別職(町長、副町長、教育長)の給与及び議員報酬の見直しを行う。

●令和6年度機構改革(案)について
 ・総務課に秘書広報係を新設する。業務は町長に関する事、

陳情・要望、栄典、広報誌編集・発行、ホームページ運用、報道機関などの対応を行う。

【こども応援課】を新設する。課の中に「こども家庭センター」を設置する。業務は母子保健事務、児童福祉事務などを担当する。こども応援課新設に伴い福祉課の「障がい・生活支援係」に変更。「子ども・生活支援係」は廃止。

●固定資産税の課税誤りについて
 ・用地の取得について相続が出来ていないものは任意分筆として情報提供することになっていくが事務処理のミスにより課税誤りが発生した。いずれも固定資産税が過大に徴収されているもので還付対象者に還付の手続きを行っている。今後の対応として庁内の情報共有と複数人での確認を徹底する。

第2回宇城広域連合議会定例会

11月10日(木)

●令和4年度宇城広域連合一般会計歳入歳出決算の認定

●令和4年度宇城広域連合宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳入歳出決算の認定

●宇城広域連合ごみ処理手数料条例の一部を改正する条例の制定

※令和6年4月1日より、自己都合で宇城クリーンセンターに搬入される場合(一般家庭ごみ・事業系ごみ)、現行では10kg以下は150円とし、10kgを超える場合は10kg増すごとに150円を加算する金額であったが、10kg以下は200円とし、10kgを超える場合は10kg増すごとに200円を加算される。

●宇城広域連合火災予防条例の一部を改正する条例の制定

●工事請負変更契約の締結
 ※エネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事で、原材料価格の上昇や円安の影響などにより、契約金額の変更、変更前92億9500万円、変更後93億6552万円

●令和5年度一般会計補正予算第2号
 ※歳入歳出それぞれ8,289千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,568,166千円とする。

●令和5年度宇城広域連合ふるさと市町村圏基金特別会計補正予算(第1号)
 全て原案可決

火入れ式

(11月14日)



廃棄物処理投入口

宇城広域連合エネルギー回収型廃棄物処理施設の火入れ式が行われました。令和6年4月1日より稼働する、焼却炉2基を備えた地上5階、地下1階建てで、延べ床面積は約3千平方m。1日に86トン进行处理し、ごみの焼却で発生する熱を利用し、最大約1600キロワットを発電する蒸気タービン発電所を設けてある。



エネルギー回収型廃棄物処理施設(宇城市)

減災、備災をオンラインで学ぶ!!

県町村議会議員研修会

10月6日(金)

講師…渡辺実氏

(防災・危機管理ジャーナリスト)

〈内容〉

「地球温暖化ではなく沸騰化」の時代が到来した。気温の上昇により毎年大雨や、台風による被害が各地で起きており、早めの準備と早めの避難が最も重要である。地震についても7年前発生した熊本地震が再び起きる可能性もある。また、「首都直下型地震」、「南海トラフ巨大地震」、「富士山噴火」などが必ず起きると予想され求められるのは「覚悟と備え」である。

〈災害時の議員・議会の役割〉

- まず自分の命を守ることを。
- 議員一人ひとりの防災力を高めること。
- 正しい防災・減災のノウハウ。
- 町民への啓発「予防に勝つ防災なし」。
- 選挙区の被災状況・ニーズを的確に把握。
- 被災者支援は最大の行政サービス。



研修の様子(中央庁舎)



○二度と繰り返さないために行政対応の検証。
※日頃から防災、減災について学び災害への覚悟と備えを持つことの大切さを再確認させられた研修であった。

写真は研修資料より
(天地動乱の時代)

伝わる広報「きらり」を目指して

議会広報クリニックに参加しました

県町村議会広報研修会

11月9日(木)

講師…越地 信一郎氏

(熊本大学客員教授)

〈演題〉「少しは化けましたか!!」創意、熱意の取り組みに学ぶ」

他の議会広報誌の良い点、改善すべき点を出し合い今後の広報誌づくりに役立てる目的で、美里町、和水町、大津町、阿蘇市、玉東町、甲佐町、山都町、山江村の8市町村でそれぞれ意見交換が行なわれた。

〈広報誌作成のポイント〉

- ① 先入観を捨てる
 - ② 企画・特集を重視
 - ③ 議会の役割・存在感を発揮
 - ④ 委員会の権限強化
 - ⑤ ICT化など時の流れをキャッチ
 - ⑥ 絶えざる創意工夫
 - ⑦ 第三者視点で大刷新
- この様に、議会広報誌作成には、わかりやすさと具体性が重要で、専門用語や堅苦しい表現は避け一般住民が理解しやすいように心がけることが大切である。

頑張ってます! 広報誌づくりのむずかしさ

- ・必要な記事、身近な話題を自ら動いて情報収集。
 - ・専門用語でなくわかりやすい言葉で表現する。
 - ・読み手を引き付けるレイアウトや色使い。
 - ・インパクトのあるタイトルのつけ方。
 - ・記事の内容をより掘り下げて(深掘り)して読み手に理解してもらう。
- ※きらり18号から編集ソフトを使って委員自らの全ての編集を行っています。これからは広報委員の更なるスキルアップを図っていきます。

阿蘇市議会だより
かるてら



(写真は阿蘇市議会だより「かるてら」の表紙)

美里町議会だより「きらり」も伝わる広報誌を目指して町民の期待に応えられる議会だよりにしていきたい。



西川 心結
にしかわ みゆ

松橋西支援学校三年

「今まで頑張ってきたこと」

私は、小学校の時から、二つの習い事を現在まで続けています。一つ目は、水泳です。昨年初めて「くまもと障がい者スポーツ大会」の水泳競技で25メートル

ル自由形に出場し、練習では途中で必ず足をついていたのですが、大会当日は大好きなおばあちゃんや学校の先生方が沢山応援に来て下さったおかげで、最後まで足をつかずに初めて泳ぎ切ることができました。

二つ目は書道です。妹と一緒に習い始め、しばらくは、結果が生まれませんでした。中3の時に同級生みんなと一緒に書道パフォーマンスに参加して以降、書道の楽しさを改めて実感し、昨年熊本県特別支援学校文化作品展で熊本代表に選ばれ全国大会に出品していたことが、現在生徒会副会長としていろいろな

ことにも精一杯取り組み、先生方もサポートしてくださったおかげで昨年11月に「熊本県がんばる高校生」の表彰式に出席し、貴重な経験をさせていただきました。3月には高校生活も終わり卒業することになります。4月以降もさらなるステップアップができるようすこしずつですがこれから先もしっかり頑張っていきたいと思っています。



五瀬 美汐
ごせ みしお

鎮西高等学校一年

「次こそ本戦」

私は、鎮西高等学校女子バレーボール部に所属しています。先日の全日本高等学校バレーボール選手権大会（春高バレー）熊本県決勝では、レフトのポジションで出場しました。自分のすべてをぶつけて

戦いましたが、本戦出場を逃してしまいました。私のバレーボール歴は、小学校2年生から父がコーチを務めるジュニアバレーボールクラブに入部しました。学童オリンピックやスポーツ少年団等いろいろな大会を経験、中学生では中体連や招待大

会等で、大切な仲間と力を合わせ頑張りました。昨年中学3年時には、JOC全国都道府県対抗中学バレーボール大会に熊本県選抜チームのミドルブロッカーで出場させていただきました。高校入学で迎えた初のインターハイ予選では、メンバーには入ったもののコート出場の機会はなく応援やサポートが主でした。中学選抜からのチーム

メイトの子と「春高予選では2人でコートに立とうね」と約束したことを胸に頑張ってきました。新チームに切り替わり、4月からは下級生も入部してきました。自分に挙げたボールは絶対に決めるアタッカーに成長し必ず春高本戦に出場し頑張ります。今後とも応援よろしくお願いいたします。

頑張っています。夢に向かって！



お知らせ

◆次回定例会
3月です。
傍聴においで下さい。

お問い合わせ

議会事務局
46-2111 (内線600)

編集後記

2024年がスタートいたしました。今年には新年早々石川県能登地方を中心に大きな地震が発生し多数の犠牲者、行方不明者がでています。お正月で帰省された家族団らんや過ごされておられたところに大規模な地震発生。テレビで流れるニュースに見入っておりました。亡くなられた方々のご冥福と被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また県内では歌手の八代亜紀さんが亡くなり悲しみが広がっています。年が変わって悲しいニュースが続きますが、世界全体を見ても、いつ何が起きるかわからない時代になっていると思います。お互い協力し合い助け合っていると思います。お互い町内においても今年一年が災害もなく平穏な一年になり、皆さんが自分らしい暮らしを安心して続けられるよう議会としても努力してまいりたいと思います。どうぞ体調にまだまだ寒い日が続きます。どうぞ体調に気をつけられお過ごしください。(吉住)

議会広報委員

委員長 今田 政行
副委員長 高田 美千子
副委員長 村崎 公一
委員 濱田 憲治
委員 坂田 竜義
委員 隈部 寛
発行責任者 上田 孝